

# みんなの 町議会

広島県  
神石高原町

第59号  
令和元年7月15日

庁舎・病院建築に向けて.....	2
6月補正質疑.....	4
町政のココを聞く.....	8
ありやあどうなったん?.....	18
議員との対話集会.....	20

二人を抱えて、  
消防団のパパは力持ち!



# 院建築に向けて

## 造成はじまる

(新病院開院)に向けた敷地造成がはじ  
めたことにより、設計業務を4か月間

施設を目指す。

万円、病院30億6000万円となって

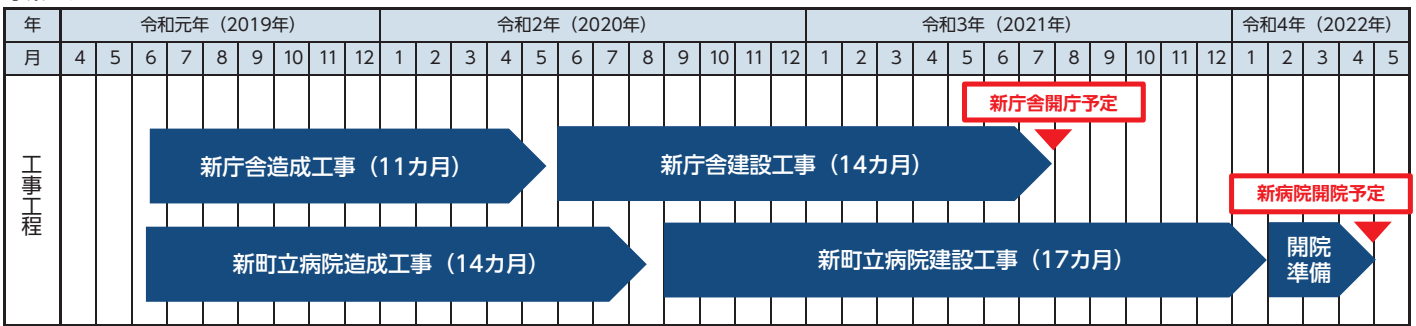
### 6月定例会

6月定例会は6月12日から6月19日まで開かれました。  
令和元年度一般会計補正予算や工事請負契約の締結など  
62議案が原案の通り可決されました。

また、繰越明許費繰越計算書や第3セクター経営状況な  
どの報告があり承認しました。

一般質問は10人の議員が、町政の課題などについてた  
だしました。

事業スケジュール



(イメージ)

庁舎・病院完成イメージ図

庁舎大会議室内観 (イメージ)

## 補正予算

一般会計 **1億6350万円**

補正後予算 **115億6350万円**

# 庁舎・病

## 庁舎・病院の敷地



造成工事起工式 令和元年6月25日

令和3年8月(新庁舎開庁)、令和4年5月  
まった。豪雨災害の測量設計業務を優先さ  
停止したため工期が若干延長した。

機能的でコンパクトな配置で利用しやすい  
総事業費の予定はそれぞれ庁舎24億9000  
いる。



病室 (イメージ)

## 令和元年6月補正 (一般会計)

(単位: 万円) 四捨五入

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費		8319	
総務費	3604	23億8618	財政管理242、地域おこし企業人・仙養ドローン2000、町紹介・PR▲171、坂瀬川区民会館裏594、プレミアム商品券232、賦課徴収経費424
民生費	1670	18億6891	メルシー・ファミリーさんわ240、介護保険会計繰出し1053、母子アプリ19
衛生費	594	12億5754	予防接種事業453、保健福祉センター管理65
農林水産業費	▲1471	9億9915	神石肥育センター管理1054、地籍調査▲2891、農業企業誘致95
商工費	158	1億1024	スコラ高原帝釈の湯135
土木費	4609	4億3698	町道維持補修500、神石殿敷住宅水源4109
消防費	48	4億4665	屯所補修43、防災5
教育費	325	7億5518	スクールバス135、三和共同調理場86
災害復旧費	465	14億4017	過年度発生林道260、過年度発生道路橋梁205
公債費		12億9587	
諸支出金	6348	4億4344	保健医療福祉支援基金積立285、かがやきネット管理運営基金積立5000、医療従事者確保基金積立1060
予備費		4000	
合計	1億6350	115億6350	



庁舎町民ロビー

# 注目の補正予算

町紹介・PR事業

補正額

△170万円

補正後

580万円

- ・トラック活用広告の中止
- ・政策提言イラスト作成の中止など

政策企画課

農業企業  
誘致促進事業

新規

補正額

95万円

- ・サル用ネットへの補助
- ・町内産堆肥の利用への補助

産業課

かがやきネット  
管理運営基金積立経費

補正額

5000万円

補正後

7596万円

- ・機材更新のための積み立て

まちづくり推進課

母子保健事業

補正額

19万円

補正後

912万円

- ・子育て支援アプリ情報配信サービスの導入（母子手帳アプリ）

保健課

公営住宅管理経費

補正額

4109万円

補正後

6382万円

- ・神石地区 殿敷住宅の水量確保

建設課

企業誘致促進事業

補正額

2000万円

補正後

2927万円

- ・地域おこし企業人制度
- ・集落ネットワーク経営支援事業（仙養ドローン）

政策企画課

総務課

財政計画

橋本議員

財政健全性の確保のため作成する財政

計画は。

総務課長

第2期の総合戦略を想定しながら、令和9年度までの計画予定だ。

旧神龍中学校跡地

久保田議員

測量費として旧神龍中学校跡地を売却するための予算が計上してあるが、ここは地元住民が駐車場などで使用しており、民間に売却したら使用できなくなる。地元で説明したのか。

総務課長

駐車場に使用しているのは把握している。整理が出来次第、早急に地元説明をする。

政策企画課

地域おこし企業人

小川善久議員

地域おこし企業人の概要は。

政策企画課長

民間企業の社員を一定期間派遣してもらい、そのノウハウや知見で、町の魅力化の支援をしてもらう。

小川善久議員

どのような企業を募集するのか。

政策企画課長

目標とするのはIT企業だ。

木野山議員

地域おこし企業人制度と過疎地域等集落ネットワーク経営支援事業は企業誘致促進事業として補正計上されている。どの様に関連があるのか。

政策企画課長

地域おこし企業人は、

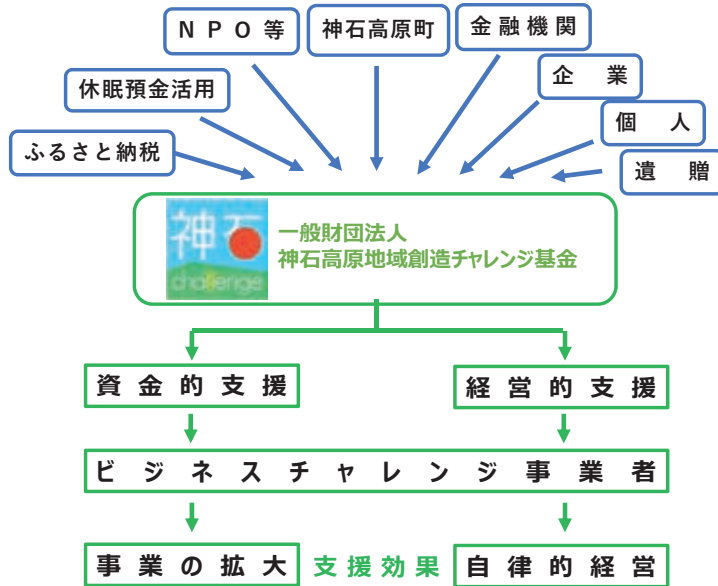
直接に仙養地区で実施する集落ネットワーク支援事業に関係しないが、企業誘致という大きな事業から見ると関連がある。

どちらの事業も最終的には企業誘致に結び付けたい。

木野山議員

地域おこし企業人交流プログラムでは、あくまでも地方圏への流れを創出することを目的としており、企業誘致の文言はない。総務省の了解は得ているのか。

○新しいビジネスチャレンジをサポート  
○金融機関を始め地域の連携ネットワークを活かす



○地域資源循環の受け皿に  
○助成金・補助金のあり方を変える

神石高原地域創造チャレンジ基金（チャレンジファンド）の計画図

政策企画課長

地域独自の魅力や価値の向上に繋がる事業に従事してもらうためのプログラムとなっているので、総務省の想定している範

囲内と思っている。

木野山議員

が、企業人を本町に誘致促進支援目的に派遣する確認はあるのか。心配だ。

派遣元企業

久保田議員 1000万円貸付し、5年据え置きでの返済が2件あるが、焦げ付いたら誰が責任をとるのか。

政策企画課長 定款の変更は可能だが、財団が金融業をすることになるので保証人を付ける変更はできない。

久保田議員 議会の総意として保証人を付けるよう求めたが理事会で認めなかった。議会の意向は無視された。それに代わる対策は。定款は変えないのか。

チャレンジファンド

政策企画課長 確認はないが、企業誘致支援を条件に公募したい。

木野山議員 「まるごと」ブースは事業

政策企画課長 ハガキの表面は、神石牛を強調し、一点突破を目指した内容としたい。郡友会などに広くPRする。当たりのプレミアム商品も神石牛に特化し高級感を持たせる。パソコンで印刷しやすい工夫をして、全国に本町を発信しやすい環境づくりに努める。

木野山議員 プレミアム年賀ハガキ販売は、費用対効果が無いと予算は認められない。新企画の内容は。

町紹介・PR事業

政策企画課長 財団は継続性を持ち、公益法人化を目指す。個人での責任はとらない。

政策企画課長 出来るだけ広く当たり幅を持ちたいが、百人単位とはならない。

木野山議員 神石牛は高価なので皆に広く当たらない。効果はどうか。

政策企画課長 神石高原町には結構良いものがあるとの印象を持って帰られた。早い段階で本町の産品がブースに展示されるよう努める。

政策企画課長 実施が遅れており計画性がない。勿体ない状況だ。東京から来町したバイヤーとの交渉結果はどうなったのか。



まるごとにつぼん 工芸品ブース（神楽面）

**木野山議員** 費用対効果の面で、町内でも東京でのPRには批判も多い。これに打ち勝つような効果があるよう、ブースを活用して頂きたい。

## 産業課

### 農業企業誘致

**橋本議員** 農業参入企業に鳥獣被害対策・町内産堆肥の補助金を、なぜ当初予算でなく、6月補正で計上するのか。

**産業課長** 今年3月の時点では、起業するかが確定でなかった。4月に入り農業参入が確定したので、6月補正した。

**橋本議員** 企業誘致するための優遇対応と思うが、根本的な対策がなされていないのでは。

**副町長** 多種多様な職種があるため、さまざまな要求もある。

早急に企業誘致の制度を設ける必要があると考えている。

**横尾議員** 補助金に鳥獣被害対策事業補助があるが、すでにサル用メッシュは設置済みだ。補助金をどうする。

**産業課長** 農産版企業誘致を促進する目的で、今回4月1日付で創設した事業である。7月末までの申請であれば、補助金の対象となる。

## 環境衛生課

### 水道使用料

**横尾議員** 水道使用料滞納繰越分の補正予算37万円あまりがあるが、公平性を保つためにも上水道を止められないのか。

**環境衛生課長** 料金を3カ月間滞納すれば、勧告し水道を止めている。

## 保健課

### 母子手帳アプリ

**林議員** 母子手帳アプリ導入による経費削減・セキュリティ対策・子育て世代包括支援センター



母子手帳アプリ (イメージ)

「にじいろ」との連携。またスマホ依存への対策は。

**保健課長** 予防接種などのお知らせを、保護者の方が保健課への問い合わせが軽減される。

セキュリティは、国のガイドラインの準拠証明書の取得をしている。全

国の50自治体が導入している。

ネウボラの相談会など子育て情報を周知するためこのアプリの導入を考えた。

スマホ依存に関しては、保健師、助産師が子育て世代の方と面談をする中で、気になる人には指導助言をしたい。

## 令和元年度 6月補正予算 議員賛否表

○=賛成 ×=反対 欠…欠席

議案名	寄定 秀幸	藤田 晃己	木野山 孝志	小川 清治	久保田 龍泉	橋本 輝久	横尾 正文	横山 素子	赤木 俊二	林 憲志	小川 善久	松本 議長
一般会計 補正予算	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	—

その他の予算は全員が賛成 議長は採決に加わらない

## 平成30年度 第3セクターなど経営状況

### ◆ 油木百彩館の清算

設立時、町の出資額は475万円で解散後の清算手続きを進めてきた。

資本金935万円に対し、清算に要した額908万8858円が清算不足金となり本町が出資した額が回収不能となったため債権放棄を行なった。

清算残額は26万1142円となり、消費税の還付金18万9447円を加えて令和元年度一般会計へ戻入する予定だ。

経営は(有)さんわ182ステーションに引き継がれる。

### ◆ 第3セクター販売状況

単位:万円(四捨五入)

会社名	H29売上	H30売上	昨年対比	税引き前利益	運営補助等
(株)神石高原農業公社	7,408	7,399	99.9%	369	1,611
(株)帝釈峡スコラ	9,904	8,856	89.4%	-45	1,147
(有)直売公社まるごと市場	13,571	—	—	—	—
(有)油木特産販売 ※H30.4.1~H30.9.30	7,552	3,485	46.1%	174	612
(有)さんわ182ステーション ※H30.10.1から百彩館の売り上げを含む	43,403	49,013	112.9%	152	1,640
合計	81,838	68,753	84.0%	650	5,136

### ◆ (一財) 神石高原地域創造チャレンジ基金

#### 収支表

単位:万円(四捨五入)

区分	期首正味財産	収益総額	経常経費総額	差引増減額	振り替え	期末正味財産
通常会計(一般)	303	500	671	-171	171	303
指定会計(指定)	1,000	370		370	-171	1,199
合計	1,303	870	671	199	0	1,502

#### 資産表

単位:万円(四捨五入)

資産		負債/正味財産	
現金預金	5,518	未払金など流動負債	216
投資有価証券		長期借入金(町より)	6,000
私募債(A社)	200		
投資株式(B社)	1,000	期末正味財産	1,502
私募債(C社)	1,000		
合計	7,718	合計	7,718

本年度で3年目を迎える。平成29年度で2社、30年度で1社の支援を行った。

通常会計は、管理運営費の計上で平成30年度の収益500万円は町補助金。

指定会計は、支援指定会計で平成30年度収益の370万円の内、100万円が寄付金270万円は町補助金。

町よりの長期借入金6000万円が主な支援財源である。

## 報告質疑

### 油木百彩館を経営改善せよ

#### 横尾議員

油木百彩館では、地元産物を売れとのことであったが、冬季は品物が少なかった。売上が心配だ。今のままでいいのか。

#### 産業課長

地元産でないで特色が無くなるとの意見があり、そのようになつた。農家からの出品を促してはいる。

#### 久保田議員

このままでは継続は危ぶまれる。大丈夫か。

#### 町長

危機感を持って取り組んでいる。

#### 藤田議員

百彩館と182ステーションはなぜ手数料が違うのか。本来は地元産品で農家所得を上げるのが目的だがどう考えるか。

#### 副町長

百彩館は18%、182ステーションは15%だ。経営状況を

見ながら検討していく。

#### 横尾議員

なぜパート賃金が違うか把握はしているのか。

#### 産業課長

役職経験年数については賃金表がありそれに基づいている。パートの待遇が違うことはない。

#### 橋本議員

運営については行政として指導をおこなう必要があるのでは。

#### 副町長

頻繁に打ち合わせをしており、会社としての立場も加味しながら具体的なことも協議している。

### チャレンジファンドはやめるべき

#### 横尾議員

町の代表は代わるのでファンド事業はやめるべき。誰が責任をとるのか。

#### 町長

今はやめるつもりはない。制度は継続していくので問題ないと考える。

# 町政の「こころ」を聞く

質疑の一部を要約してお伝えします  
質問時間は、答弁を合わせて一人一時間以内で一問一答方式  
全文については町ホームページをご覧ください。



林 憲志 議員

## 問 関係人口増への方策は

答 郡友会などと「絆」を深める

町長

**問** 関係人口が増える事で住民が幸せを感じられるのか。

**答** 町長 本町の出身者や出身者と縁のある方々と「絆」を築く。郡友会などと、どう「絆」を深めていくか協議を行っている。

**問** 「縁(ゆかり)」による関係人口増に向け、町の具体的な取り組みは。

**答** 町長 外部から企業誘致を行うより、地域に根付いている事業所の承継

### 事業承継の対策

**答** 政策企画課長 豊松 地区の取り組みでは、福山市の方々と交流しているが、毎回楽しみにされており、幸せを感じておられると思っています。

**問** 外部から企業誘致を行うより、地域に根付いている事業所の承継

に力点を置く方が、リスクが少ないのでは。事業承継に特化した支援策は。

**答** 町長 町としては、ハイパシーに配慮しながら発信をする。

会社を買いたい人と、後継者のいない事業者のマッチングを図るようなホームページの利用も可能性がある。



福山市で開催された郡友会の総会

### 山林荒廃の防止策

**問** 森林の多面的機能・土砂災害防止のためにも、林地の列状間伐・皆伐・過間伐・広すぎる作業道の規制が必要では。また、排水溝の間隔が広すぎ、作業道が崩落しているが対策は。

**答** 町長 森林保全のための施策を実施している。こうした施策が土砂災害の抑止効果の低下を招いているとは考えていない。

**問** 不在地主や管理出来ない山林を「山林バンク」を設置し、小規模林業者に橋渡しを行う事で、持続的管理が出来るのか。

**答** 町長 新たな森林管理システムのもとで、森林環境譲与税を財源に、広島県と協議のうえ、まずは町内のモデル地区で実施し、検証していきたい。

### ドローンの活用

**問** ドローンの活用に向け、完全自律飛行実証実験を行うってはどうか。

**答** 町長 本町では油木地区の仙養自治振興会を舞台に、総務省の過疎地域等自立活性化交付金事業で、ドローンを活用し、地域での防災減災対策などで、外部からの企業誘致をめざす。自律飛行実証実験も、検討をしている。





赤木 俊二 議員

## 問 養鶏場跡地利用は

答 鶏糞の処分を含め検討したい

町長

**問** 三和地区高蓋切田にある養鶏場跡地だが、以前大手企業から跡地利用の話があった。進んでいるのか。

**答** 町長 誘致に向け地域住民への説明などを経て、平成30年度は企業・県の関係機関と月1回の調整会議を行ってきた。鶏糞処理や財源の問題がある。

**問** 鶏糞の処理はどう考えるか。民有地なので本来は業者が行うべきだ。

**答** 町長 鶏糞の処理は3億円程度と聞いて

いる。

現在、有機物を燃料とする焼却施設をモデル的に運営したいという提案を受けている。

ほぼ負担がない状態のできるのであれば検討の余地はある。

**問** 焼却施設の設置は場所の選定が難しいのでは。

**答** 町長 法的なものや環境に関しては問題ないと聞いている。具体的にしなければその地域とも話をする。

**問** 鶏糞処理の経費回収見込みは。

**答** 産業課長 本来は業者がすべきだが、その能力はもっていないと考えられる。大手企業や焼却炉の業者を模索することにより、経費が掛からないようになればいいと考えている。

## 子供の貧困の現状とその対策

**問** 国民生活基礎調査では子供の貧困率は13・9%で、約7人に1人が貧困とされている。それは子供たち自身や社会全体にとっても決して望ましい状態ではない。

町の現状はどうか。どのような対策をしていくか。

**答** 教育長 町独自の調査は行っていないため十分な把握はできていない。

対策としては子供の教育環境を支える就学援助があり、負担軽減のため就学前の小中学生を対象に就学援助費の支給を行っている。また子育て支援としてスクールソーシャルワーカーの配置を今年度から2名に増やして対応している。

**問** 就学援助からみた高原町内の状況は。

**答** 教育長 就学援助からすればほぼ全国と同じくらいだ。しかし、食事に事欠くような貧困であるという状態はないと考えている。

今後各学校やスクールソーシャルワーカーと連携し、状況によっては福祉課や保健課とも連携を取りながら問題に取り組んでいきたい。



鶏糞処理が課題の養鶏場跡地（高蓋地域）

問 JIN(神)プレミアム認定の効果は



横山 素子 議員

町長 答 徐々に売上げは上がる

問 JIN(神)プレミアム事業は「もの・ひと・こと」の5品目を認定しているが、そのPRの効果は。

答 町長 一足飛びに売上げが上がるとは思わないが、「まるごと」に「ぽん」などの出品で、徐々に上がっていくと考える。

問 審査会の構成員は。また、審査基準が曖昧ではないか。

答 政策企画課長 審査会構成員は、各課の課長と支所長で審査している。審査基準は、提出

された申請書から、技術性・将来性・独自性などを重視して審査している。

問 基準をもっと分かりやすくして、誰もが認定に挑戦したいと思えるように、また、住民とプレミアム感が共有できるようなJIN(神)プレミアムにして頂きたい。

答 政策企画課長 認定のメリットが出るように考えていきたい。また認定商品も今後増やしていきたい。

楽天との包括協定は

問 今年度、国の過疎対策事業で仙養地区にドローンの実証実験が行われる。これに楽天はどう関わるのか。

買い物支援や農産物の集出荷の実現は本当に可能か。

答 町長 この事業には楽天にも一翼を担って頂くよう協議している。1年間実証実験した後、実現に向けて検討していく。

定住団地整備

問 豊松地区の坪8円の方譲団地の応募状況は。

答 町長 6月3日時点で、2件の申し込みがあった。

いずれも県外からの申し込みで、全員で8人、子供さんは0歳から5歳まで5人おられる。

問 油木地区の新岡団地分譲計画の具体的な内容は。

答 町長 旧油木町時代に整備した、後継者定住促進団地東側に隣接する町有地1700㎡に

整備を計画している。

現在、区画の配置や規模・整備費用などの検討を進めている。

1区画100坪程度を3〜4区画整備をできたらと考えている。

小児科医療体制の構築

問 小児科医療体制の構築と病後児預かり制

度の進捗状況は。

答 町長 残念ながら具体的成果はまだないが、助産師・保健師・精神保健福祉士による相談体制の充実を図っている。

この課題は若者定住の大きなキーワードなので、これからもあらゆる機会を捉え取り組んでいく。



JIN(神)プレミアム認定された「神石高原最中」



横尾 正文 議員

### 問 資金の支援方法は

**答** 出資または私募債の引き受け

町長

**問** 神石高原チャレンジファンドの資金の支援方法と回収方法は。

**答** 町長 資金支援は、出資または私募債の引き受けで行っている。

出資の場合は、無配当で議決権を持たない。私募債の場合は、無利子としている。

償還期間は、概ね10年以内で支援先ごとに検討している。

**問** 保証人がいないが、今後もこの方式か。

**答** 町長 保証人が必要という指摘を議会から受け、理事会でも協議

が行われた結果、融資ではないので保証人や担保設定という方法をとることは困難との意見である。

**問** 保証人を置くことが困難であるなら、支援方法は、出資や私募債の引き受けでなく、利子補給や町が保証人になつて民間の金融機関からの融資がよいのでは。

**答** 町長 財団としても、利子補給相当分の出資などは検討している。また地方公共団体である町が保証人になることは困難である。

### 企業誘致促進事業は

**問** 企業誘致の進捗状況は。

**答** 町長 農業関係で、2社が本町で本格的な活動を始めている。その他他社から本町の遊休

施設が利用可能か否かの問い合わせがある。

**問** 町内外の企業訪問・面会協議の状況は。

**答** 町長 昨年は、町内外の企業訪問を60社行った。その中で感じたことは、町内にも勢いのある企業や前向きな経営者が多くいる。



ALTによる英語授業（三和小学校）

そして、多く聞いたのが人手不足であること。だとすれば、人手を確保すれば企業に元気が出てくると思われる。

### 英語教育

**問** 小学校低学年などで英語教育を行っているが、先生方の対応はス

ムーズにしているのか。

**答** 教育長 「慣れ親しむこと」を中心に、担任とALTで取り組んでいる。学校裁量などの時間を活用しての取り組みなので、スムーズに実施できている。

### 災害協定

**問** 災害支援を得意分野としている町内のNPO法人との災害時の協定は。

**答** 町長 遅くとも7月には締結したい。また災害時の支援に限らず、地域医療を守る活動や地域活性化など地方創生全般に関する支援についても協定をしたい。

## 問 チャレンジ基金の財源確保は

町長

答 寄附金やふるさと納税に拡がり

・農産物加工品を販売する法人は、事業拡大中。  
 ・神石牛を一貫経営する法人の施設拡充に対する支援は、本年2月に牛舎が完成し、次の牛舎建設の準備中。  
 ・ゲストハウスの運営を計画する旅行会社は、今月から豊松地区にある民家を改修し、秋には運営を開始する予定。  
 なお、この旅行会社は、韓国からの旅行者を既に受け入れている。

答 町長

問 チャレンジ基金支援先の状況と効果は。



橋本 輝久 議員

・休止中の仁吾川水力発電所を再稼働させる法人は、現在、経済産業省と設備の調整中。支援は調整後実施予定。

問 チャレンジファンドの効果は。

答 町長 町で考えられる起業や事業拡大の喚起を行った（この間に16件の提案があった。）  
 支援は町費だけでなく、企業や個人寄附、ふるさと納税に拡がりをみせている。  
 効果があったと考えている。

### まちの将来像は

問 人口減少や交付税の減額など、厳しい財政状況である中、現在の国・県の動向を把握し施策に取り組んでいるのか。

また町の将来像を考えているのか。

答 町長 人口減少は避けれない。本年度から、ふるさと住民票制度に近い、「縁（ゆかり）プロジェクト」を始めていく。町民とそれを取り巻く数万人の「縁ある人」が、神石高原町を支えていく相互に補完しあう「町」。自然豊かな心休まる「町」。あらゆる資源を活用できる魅力的な「町」。こんな町を創造していきたい。

### 映画制作の効果は

問 映画に対する評価とその効果は。

答 町長 町の名所などを各所に織り込んだ作品となっており、評価している。映画で使用された料理や出演された方々からの情報発信などに期待している。

### 有機の里

問 有機の里（日本オーガニック）の状況と成果は。

答 町長 平成30年度に1名、今年度に1名それぞれ研修を希望する

に期待している。

者が、雇用されながら有機農業を学ぶことを選択され「農の雇用」事業を活用し就業している。  
 結果として日本オーガニックカレッジへの研修生の受け入れ実績は、0人となった。  
 有機農業を学び定住し、将来的には、農業後継者も育成していきたいという計画を持っている。



再生が期待される仁吾川発電所



久保田 龍泉 議員

# 問 有害鳥獣処理施設計画は

答 総合戦略に盛り込む

町長

**問** 処理施設について  
は、2018年度国のモデル事業の結果を注視し検討するということだが、その結果と方向性は。

**答** 町長 国の結果を参考に、ジビエの活用や焼却処理も含めたニーズの調査を基に検討し、今年計画する総合戦略に盛り込む。

## 百彩館の運営

**問** 昨年10月に道の駅と  
統合し8カ月経過したが、最近品物が少ない

**問** 株を時価でなく、額面通りに町が買うことを条件に解散に賛成を要求した。店長が交代したが、以前より売り上げは減少し赤字が拡大している。このままでは百彩館は営業が成り立たない。総括をしないと今後どうするのか議論に入れない。

**答** 町長 地元と協議しており、総括するには少し早い。

**問** 店長はなぜ道の駅と  
掛け持ちするのか。

とか、売り上げが減少していると聞く。  
平成30年度の決算と今後の方向性は。

**答** 町長 地元サポーターズクラブとの意見交換をする中、地元農産物や加工品を中心に販売する運営に切り替えたが、結果として売り上げが減少している。

## 地域創造 チャレンジ基金

**答** 町長 統合して18  
2ステーションの管理となっている。売上を上げるよう努力している。

**問** 基金を運営する財団  
法人の運営費は、今年1000万円計上してある。財団が存続する以上毎年これだけ必要なのか。内容と見直しは。

**答** 町長 民間からの寄付を募り、寄付が多くなれば、町の補助を減額する。過去2年間で1400万円の寄付があった。

**問** 3000万円の貸付  
で、1000万円の運営費がかかり非効率だ。給与、旅費、手数料全て東京在住者のもとに入る。

昨年災害では、小規模の復旧は補助対象外で

あり、被災者は苦勞したことを使うべきだ。

**答** 町長 チャレンジ基金と復旧補助は違う。

## 予算審議の 賛成討論の確認

**問** チャレンジ基金の運営は計画の十分な吟味や保証人の設定を考慮し、厳格な審査を望むと議会は意見をしたが対応は。

**答** 町長 資金支援は出資、私募債の引き受けである。融資でないので保証人や担保設定は困難だ。

評価委員会は公認会計士、大学教授が入り、厳格に審査している。

**問** 町紹介PR事業は、「まろっこぽん」以外は見直すとしたが、その後の対応は。

**答** 町長 「まろっこぽん」と、年賀はがきの発売以外は執行しない。



柚子の実を食害するサル（神石、永野地区）

# 問 8つの挑戦の進捗状況は



**答** それぞれ着実に推進している



小川 清治 議員

**問** 地域活性化チャレンジ事業の目的など趣旨は。

**答** 町長 起業や新事業展開、事業規模雇用拡大に対する意欲向上促進で地域経済の活性化を図ること。

**問** 今年度応募状況と、過去の受賞者のビジネスプランコンテスト実行状況は。

**答** 政策企画課長 今年度の応募者はまだない。平成29年度は9つの提案があり最優秀賞はインターナショナルスクール事業で2020年開校

に向け準備が進んでいる。優秀賞はワインリキユール開発と、リサイクル液肥開発で、いずれも商品化されている。平成30年度は、神龍湖「神楽ミニパーク構想と赤キウイ「高原ルビー」でいずれも事業展開されている。

## 納得いく町のPR映画が出来たか

**問** 映画制作の目的は。

**答** 町長 町のPRと産品の販売、あわせて制作に関わる町民の一体感の醸成だ。

**問** 上映会は2回開催された。状況と反響は。

**答** 政策企画課長 2回の上映会で100名程度の方々に視聴頂いた。

**問** 町民の大半は見えていない。全編の放映を見るためDVDの貸し出しをしたらどうか。

**答** 政策企画課長 7月上旬に自治振興会など、団体を対象にDVDの貸し出しを準備中だ。

**問** 映画制作で町へどのような効果をもたらしたか。

**答** 政策企画課長 町のPRが目的だ。全国で契約者が300万人いるひかりテレビで、6月22日まで配信される。SNSでも多くの反響があった。

**問** 町長の納得のいく映画が出来たか。

**答** 町長 良い季節での撮影がかなわなかったことが残念だが、一定の評価をしている。

**問** 費用対効果は。

**答** 政策企画課長 主目的は町のPRと産品の販売だ。すぐに効果が発現するとは思わない。



有名俳優が出演し、撮影が行われたドラマ「逃亡料理人ワタナベ」



木野山 孝志 議員

**問** 182ステーションリニューアルは

**答** 計画どおりしっかり取り組む

町長

**問** 182ステーションリニューアルに関する内容は、姿が見えない中での町民の関心度は高く期待と不安が入り混じっている。改めて以下につき伺う。

- ① フードコートの内容。
- ② 製品の確保は。
- ③ 新店舗の展開は。
- ④ 百彩館はどうする。
- ⑤ 観光協会との連携は。

**答** 町長 ① フードコートは、カウンターの中の厨房で料理し提供する。現在のたこ焼きブースは廃止し、軽食類販売はフードコート内に集約する。ラーメンは販売し

ない。売上は、地元産の農産物を活用した食品やクラフトビールの販売などで1千万円増の6千万円を目指す。

② 産品確保のため、農家の育成や集荷体制の構築についても検討する。  
④ 年間を通さないと課題は見えないが、地元サポーターズクラブと意見交換しながら、集荷の利便性を図る事で産品を確保し、運営の安定化を目指す。  
⑤ コンビニ前の売店の中に観光協会の事務所が移転する。情報のやり取りや共有を密にし、今まで以上の連携を強化する。

**問** 産品確保には、パイは限られており、加工品製造機械導入への投資など6次産業化への本格的取り組みが必要だ。道の駅とは、町の玄関口でありワンストップで町のあらゆる情報を伝えるコンテンツの宝庫だ。観光協会にはその役割を十分に担って頂くよう連携を強化すべきだ。

第3セクターの会計については、公設民営の部分で「民」の会計は報告されるが、「公」の部分は役場会計の中で単式で1年償却で終わっており、長期的な費用配分の原則に沿っていない。長期的な経営安定のためには、期間に費用を配分し回収することが必要だ。財政法13条の2に反しなければ、会計を別にして資金造成を行い、財政安定化を図ったかどうか。

**答** 産業課長 ③ 野菜の劣化を防ぐため空調に配慮し、壁の色は「カープ色」、陳列は平台生花コーナーを入り口付近に設置するなど楽しく買い物出来る店舗を目指す。外販出荷の予定はない。

**答** 町長 考え方は理解できる。今、町は公

会計制度の導入により状況は把握している。第3セクターについては、金額も多くないので、その中で、別に分けて資金の造成を考えていきたい。

**児童生徒の通学時の健康管理は**

**問** 近年は日差しも強く、児童生徒の通学

時における熱中症対策に何か良いアイデアは無いか。

**答** 教育長 各学校においては、登下校時の熱中症対策として、帽子の着用や水筒を持参させ水分補給するなどの指導を行っている。また小学校では、毎日の集団下校時に、児童の健康状態を観察し、留意点など確認している。



基礎工事中の、道の駅リニューアル現場

**問** 子育て支援が最重要では

町長

**答** 一層充実させ定住につなげたい



寄定 秀幸 議員

**問** 人口減少対策は、若者が安心して子育てできる環境整備や子育て支援こそが最重要施策では。

**答** 町長 子育て支援策は、人口減少に対する重要な施策である。一層充実させ、若者定住につなげていきたい。他の自治体に先駆け、様々な支援策を実施してきた。今後は、きめ細かな支援と地域と協働し、安心して子供を育むまちづくりをめざす。

**児童虐待防止対策は**

**問** 深刻な児童虐待事件が相次いで起きた。しつけによる体罰は必要ない、との認識を社会で共有すべきであり、児童虐待防止とDV被害者支援の連携で親子を守る体制強化が必要だ。神石高原町版ネウボラ「にじいろ」の一層の充実が必要と考える。

本町の児童虐待防止の取り組みは。

**答** 町長 児童虐待、いじめなど、複雑化する児童問題の未然防止や要保護児童の早期発見、適切な保護や支援が必要だ。その為に関係行政機関、民間団体などと密接な連携と相互協力を行う「子育て支援ネットワーク」を設け、しつけによる体罰は許さないという啓発活動など行っている。「にじいろ」では、切れ目のない支援の中で、児童虐待の未然防止に努めている。



団結して大縄跳びをする生徒たち（神石高原中学校）

**答** 教育長 学校をはじめとし、病院その他児童の福祉に業務上関係ある団体や職員は、児童虐待を発見しやすい立場にあることを自覚し、より積極的な児童虐待の早期発見・通告に努め、関係機関と連携していく。

**通学時の安全対策は**

**問** 自動車事故や凶悪犯罪が多発しているが、通学時の安全対策は万全か。

**答** 教育長 今回の大津市、川崎市の事案を受け、「学校安全計画」「危機管理マニュアル」を基に、家庭・地域住民・警察など、関係機関と連携し登下校時の安全対策を進めている。各学校では、定期的な登下校指導、各地域や保護者による見守り、駐在所による巡回パトロールの強化

をお願いしている。

東部管内の不審者情報は各学校に配信し、必要に応じて保護者向け緊急メールを発信している。

**読書推進について**

**問** 図書館利用促進と読書意欲向上のため、「読書通帳」を導入すべきでは。

**答** 教育長 「読書の記録」「読書貯金」などの名称で、読んだ本や感想などの記録を全ての学校で行っている。「読書通帳」は、読書意欲につながると、全国の図書館で導入が進んでいる。現在の取り組みと合わせ、検討したい。

- ・その他の質問
- ・高齢者支援
- ・環境保全について
- ・防災・減災対策





小川 善久 議員

# 問 企業誘致の進捗状況は

**答** 地元企業の課題を把握中

町長



**問** 企業誘致専任の担当職員をつけて地元企業の要望を聞いて回っている。何が分かり、どれ位の規模の企業を、どうやって誘致するのか。

**答** 町長 課題を把握するため地元企業を回っている。多くの企業が、従業員の確保に苦慮されていた。  
小規模な団地を複数用意し、時間や場所の制約を受けずに柔軟に働ける企業を誘致していく。  
地域資源を生かした農業、観光を切り口とした企業など様々な業種の参入にも取り組む。

**問** 住民から「町外に出ている自分の子供を実家に帰らせようと思っても、働く場所が無い。だから、企業を誘致するべきだ」という声を聞く。どう考えるか。

**答** 政策企画課長 町内の多くの企業は人材不足で困られている。これだけの数の企業があること自体が周知されていない可能性がある。

**問** 企業を誘致する場合、地元企業と競合しないことが必要だ。

**答** 政策企画課長 町民や地元企業の要望に応えられる誘致をしていきたい。

J-IN(神)  
プレミアム

**問** 「神石高原町でかかやく、もの・ひと・こと」の中から特に優れたものを、J-IN(神)プレミアムというブランドに認定している。利点が見えないことや申請が煩雑なことが認定の増えない原因では。

**答** 町長 申請の相談は増えている。認定者へは、PR物品を提供し、町のホームページなどのトップページへ掲載し、イベント情報を発信している。J-IN(神)プレミアム認定品を将来的には、町の特産品にすることがゴールであると考えている。

**答** 町長 申請の相談は増えている。認定者へは、PR物品を提供し、町のホームページなどのトップページへ掲載し、イベント情報を発信している。J-IN(神)プレミアム認定品を将来的には、町の特産品にすることがゴールであると考えている。

**問** トマトやこだわり菜の会の会は選ばれていない。町主体でお願いする姿勢が大切では。

**答** 政策企画課長 声かけをしている。トマトなどは作り方が多数あり、トマトすべてを認定することは出来ない。

**問** 浅草にある「まるごとにっぽん」のブースを昨年まで備後圏域で借りていた。本年度は、神石高原町単独で出展することになった。町内への利点は何か。

**答** 町長 知名度の低い本町と、J-IN(神)プレミアム認定品など特産品を首都圏においてPRできる。  
運営会社と町内事業者の直接取引。食料品は買

い取り仕入れで、送料は事業者負担。工芸品は、委託販売である。  
出品希望者は、政策企画課が会社と調整する。

**問** 実際行ってみた。神石高原町産以外のものが多かった。当初の話と違うのでは。

**答** 政策企画課長 只今出品商品を選定中であり、徐々に増やしている。



「まるごと にっぽん」神石高原ブース

# 子育て世代に向けた 坪8円のゆくえは



## 定住促進事業豊松地区 新平谷住宅分譲地

町外からの子育て世代の転入と小学校児童数の増加を目指すために計画されたもので、分譲価格の坪8円が話題を呼びました。

注目を集め、発表されてから町ホームページへのアクセスが4万件近くあり、報道もされ情報の発信は効果があったと考えられています。

す。

6月28日で申し込み締め切りとし、2件の申し込みがありました。分譲は町と関係機関で審査し7月中に決定します。

残った分譲地は条件の変更も視野にいれ今後も継続募集する予定です。

### まちの声

皆さんの要望・ご意見・感想など

●議員の方が質問事項を調べるのも大変と思います。しっかりと問題を探し住みよい町にして欲しいです。  
(70代 女性)

議員一人ひとり頑張っています。  
(70代 女性)

●このたびのクイズはヒントが良かったと思います。  
(80代 女性)

ありがとうございます。さらに頑張ります。  
(70代 男性)

●難しいかもしれませんが数を限って傍聴者が質問できるようにしてほしいと思います。  
(70代 男性)

議場での発言は規則で禁止されています。「ようこそ町長室」などの制度を利用するか、それぞれの議員におたずねください。  
(70代 男性)

●小さな幸せを気づかせて頂きながら日々過ごさせてもらっています。住みよいまちづくりに頑張ってください。  
(80代 女性)

●平成時代は豪雨で大きな災害がありました。令和の年は穏やかでありますよう祈ります。  
(女性)

●全国的に若者の政治離れ、無関心がクローズアップされ無投票が多いが打開策はないか。  
(60代 男性)

議会としても町民の皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。  
(70代 男性)

議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございました。皆様からいただいた声を受けとめ、前向きに取り組んでいきます。

#### クイズの答え

- ①最優先
- ②にじいろ
- ③スリム化

第40回議会クイズ当選者

油木地区 藤井 絹枝さん

おめでとうございます！

条例改正

こんなことが決まったよ

— 主なもの —

条例の一部改正

**行政財産の使用料に関する条例**  
 ・消費税率の改正に伴う利用料などの改正  
**がんばる神石高原町ふるさと応援条例**  
 ・ふるさと納税対象にふれあいタクシー事業など  
 (他49件)

賛成多数

工事請負契約の締結

**工事名** 三和中学校改修工事  
**請負金額** 1億1826万円  
**請負者** 村上建設株式会社  
**工期** 至 令和2年3月13日

全会一致

権利の放棄

**有限会社油木特産品販売** P7参照  
 ・解散にあたり、回収不能な債権の放棄

賛成多数

**工事名** 神石高原町庁舎・病院敷地造成工事  
**請負金額** 3億7260万円  
**請負者** 児玉建設株式会社  
**工期** 至 令和2年8月14日 (他1件)

4月 臨時議会

条例の一部改正

**介護保険条例**  
 ・保険料の減額賦課

全会一致

工事請負契約の締結

**工事名** 神石高原町  
 ふるさと活性化センター改築工事  
**請負金額** 2億9592万円  
**請負者** 宮田建設株式会社  
**工期** 至 令和2年3月3日

全会一致

専決処分

**税条例等の一部を改正**  
 ・軽自動車税等の変更

全会一致

条例質疑

議案第113号神石高原町立病院の利用料金及び手数料に関する条例の一部を改正する条例について

林 憲志議員

**問** 住民の暮らしは困窮している。消費税増税分は医療・福祉に充てるのではないか。何故、今、町立病院の手数料を上げるのか。

参議院選挙の論戦で、消費税廃止・増税凍結を言っている政党もある。選挙結果を見てからでも良いのではないか。  
 このままでは条例に反対せざるをえない。

**答** 町長

今、国は10月に消費税を上げる事で進んでいる。国の制度に基づき実態運営していく。本町だけ単町持ち出しで医療費削減など進めて行く事にはならない。

議員発議

国への提言

地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は防災・減災事業の実施など、新たな政策課題にも直面している。

一方、人材に限られるなか、新たな公的サービスの提供が困難となっており、人材確保とこれに見合う地方財政の確立をめざす必要がある。

増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保などをはかるよう要請する。

提出者 久保田龍泉  
 賛成者 横尾 正文

# 議員との対話集会

多数の皆様のご参加

ありがとうございました。

参加人数

豊松会場	19人
神石会場	17人
油木会場	20人
三和会場	30人

皆様からの貴重なご意見の主なものをご紹介します。

## 生活交通事業

町へ提言

Q ふれあいタクシー600円を据え置いて永久に行ってほしい。

A ふるさと納税を活用できるように考える。600円は維持していきたい。

## 鳥獣被害対策

議会で検討

Q 後継者の育成が出来ていない。後継者育成と処理施設販売ルートの確立を。

A ハンターの育成は、補助制度もある。肉の処理や販売ルートなど具体化に向け議会も検討している。

Q サルの追い払いを、里守り犬も一緒にして貰いたい。

A 里守り犬は現在5頭で、未だ訓練中。

## 災害対応

Q 災害復旧はどの程度進んでいるのか。

A 順次入札をしており、農災を優先している。田は秋以降になる。

Q 広域農道の災害復旧から1年がたった。どうなっているのか。標識が分かり難い。

A 町と地権者と協議中。協議が出来た段階で工事に入る。標識については、建設課へ申し入れる。

## 議員のなり手不足

Q 定数を12にしたが、選挙が無かった。魅力がなかったのではないか。

A 町民の皆さんと議員のなり手を模索する必要があるのでは。

## 議会のスリム化

Q 議会はタブレットの導入だけでスリム化するのか。

A タブレットは、事務的なスリム化だ。

Q タブレットは維持費も必要だ。どこに必要性があるのか。

A 議案書や資料など、早く見られるし、紙が不要になる。長期的に見たら節約となる。



住民の意見に応える議会（三和会場）



本年度の施策を説明する議会（油木会場）

町立病院の体制

Q 町立病院にNPO法人ピースウィンズジャパンの医師が当直に入っている。外来が出来ないか。

A NPO法人ピースウィンズジャパンは災害支援もあり、常勤は無理と聞いている。担当課を通じて病院とも話をしていく。

補助金・交付金

Q 自治会の交付金の件。人口がベースになっている。人口が減れば減る仕組みになっている。どう考えるのか。

A 人口割と平等割りのシステム。時代や地域性を考慮し公平性を追求したい。

第3セクターのあり方

Q 運営費が安易に支給されていないか。

A 運営費の中身については、よりチェック機能を高める。

対話集会

Q 今回の討論会の参加者数が少ない。この状況をもっと考えてほしい。

A 参加者は減少傾向にあるが、皆さんの意見を議会活動に生かしていきたい。

農業の担い手

Q 農業の担い手が少ない。高齢化、耕作放棄地が増えている。

A 青年への農業支援もあり、少しずつ若い人が入ってきているので今後期待できる。

JIN(神)プレミアム

Q JIN(神)プレミアム認定の基準を作ったかどうか。

A よりわかりやすい基準にしてJIN(神)プレミアムの商品の枠を広げるよう提言している。

連続ドラマ「逃亡料理人ワタナベ」

Q 費用対効果はどうか。

A 当然費用対効果は考えるべき課題だ。6月定例会で一般質問する予定にしている。この事業は全員が賛成した事業ではない。

道の駅 商品開発

Q 道の駅の商品開発に800万円は使いすぎだ。クラフトビールを町を挙げて作るのはどうなのか。

A クラフトビール開発委託費は476万円で、特色ある町の産品を原料に使って委託製造する予定だ。フードコートで販売メニューの開発に324万円、産直市でそろそろ材料を使用する。

AED設置

Q AEDは屋内に設置してあるが、屋外への設置を望む。

A 先進事例を研究し屋外へも設置していきたい。

教育による活性化

Q 教育をしっかりとすれば魅力が出て人が来るのでは。

A 教育は重要だ。全国学力テストによると本町は全国的にも学力は高い。このすばらしい教育を町づくりの柱にすれば良いと思う。

# 元気なグループ紹介だよ!

## 豊松地域絵画グループ



私たち絵画グループは、会員10人ほどで、月2回以上の活動を行っています。

主に、水彩画・水墨画を習い、花など自然や観音像などを描いています。中には、油絵に挑戦している人もいます。ほとんどの人が5年以上のキャリアで神石高原町美術展にも出品しています。



熱心に指導される赤木さん

約20年前の公民館事業において、絵画教室を行っていました。5年前から絵画グループとして活動しています。

指導者の赤木敬史さんは絵画技術も素晴らしく、県美展にたびたび入選され、小学生から高齢者まで多方面に指導されており、丁寧な指導で信頼が厚く、多種多様なモデルも用意され、あきがこないと好評です。皆さんも、ぜひ参加され絵画など楽しみましょう。



発行責任者 議長 松本彰夫  
住所 広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-1891340  
FAX 0847-14201

## 第41回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉をいれてください

- ① ○○・○○ 建築に向けて
- ② チャレンジ基金の○○確保は
- ③ ○○のなり手不足

**ヒント** 議会広報をよく読んでね!

### ●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。

正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

### ●あて先

〒720-1522 神石高原町小島2025番地  
神石高原町議会事務局「第41回議会クイズ係宛」

### ●締め切り

8月13日(火) 消印有効

### ●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。

## 議会を傍聴してみませんか

# 次回の定例会は 9月です

### 編集後記

平成30年7月豪雨災害から一年が経ちました。本年度からは復旧作業と新庁舎建設・新病院建設・道の駅リニューアルの3大工事が、本格化し、災害復旧と次世代への基盤整備事業が重なり、財政出動が益々増しています。

そんな中、本町では企業誘致・チャレンジファンド・ドローンの実証実験など果敢な挑戦が続きます。10月の消費税増税により、景気悪化も懸念される中、皆様に幸福の実感が伴う施策にするべく、しっかり議会機能を高めて行きたいと思っております。

(林)

### 表紙の紹介



多くの参加者で賑わった、二幸区民運動会

### 議会広報常任委員会

委員長 赤木 俊二  
副委員長 林 憲志  
委員 木野山孝志  
委員 横山 素子  
委員 小川 善久